

研究研修計画

<p>[テーマ1]</p> <p style="text-align: center;">地域資源を活用した「我が事・丸ごと」による子どもの学習支援体制の構築</p> <p style="text-align: center;">担当教員:生活科学科准教授 武田 誠一 法経科准教授 川崎 航史郎</p>	
<p>テーマ解説</p>	<p>子どもを取り巻く環境は養育者の経済的困窮の影響を受けやすく、近年、子どもの貧困が社会的な課題となっている。</p> <p>2013年6月には「子どもの貧困対策推進法」が成立し、生活に困窮する子どもへの支援の充実が図られているが十分とは言えない状況である。特に貧困の連鎖を断ち切る上で、教育が重要であるとは多くの研究者が指摘しており、そのために生活困窮者自立支援制度では任意事業として学習支援がメニューとされている。なお、生活困窮者世帯の子どもを取り巻く状況としては、以下の点が指摘されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 進学や進路について相談できる大人がいない ● 学習する場や環境が整っていない ● 親自身を支援する体制が整っていない ● 学習する姿勢が準備されていない <p>このような状況を改善し学習を継続させていくことが「子どもの学習支援」の機能と言える。</p> <p>今後、「子どもの学習支援」を進める上で既存の事業だけでなく、地域住民等が行っている活動などとの連携、協働が必要である。</p> <p>そこで本政策研究・研修では地域資源の把握と福祉・教育との連携のあり方などを調査研究し、津市における地域資源を活用した「我が事・丸ごと」による子どもの学習支援体制の構築を目指す。</p>
<p>研究計画等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 津市を含めた三重県内での地域住民等が実施する学習支援の実態把握 ● 行政(福祉・教育部門)と住民との連携による学習支援活動の先進地視察 ● 地域資源を活用した「我が事・丸ごと」による子どもの学習支援モデルの提案
<p>備考</p>	